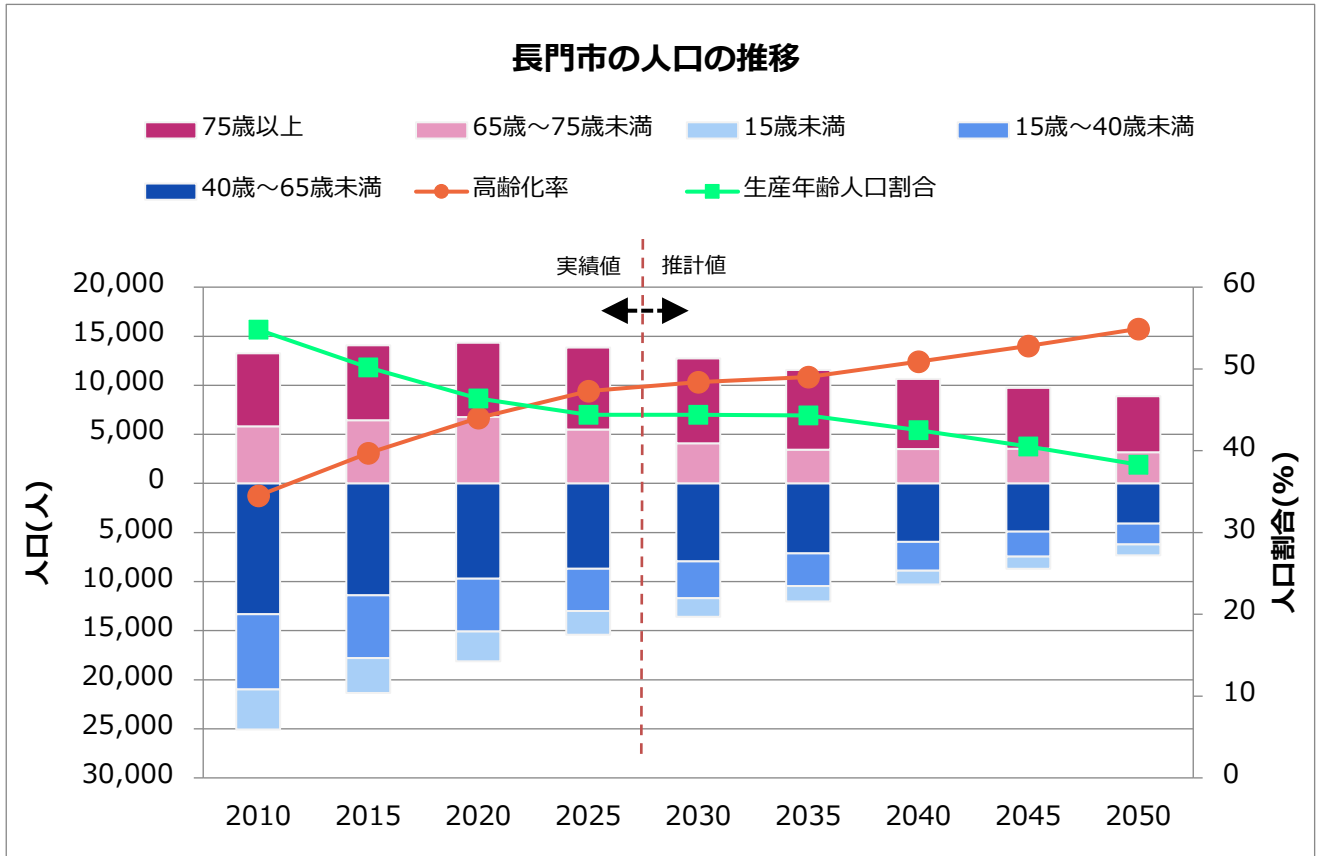


◆長門市の人口の推移と推計

長門市の総人口は近年減少傾向で推移しており、2010 年（H22）から 2020 年（R2）までに 5,830 人減少しています。さらに 2020 年（R2）以降も人口減少がますます進むと予測され、2045 年（R27）には、総人口 20,000 人を割り、2050 年（R32）には、総人口 16,197 人となる見込みです。

65 歳以上の人口は 2020 年（R2）にピークを迎えて以降減少に転じていますが、15 歳から 65 歳未満の生産年齢人口も減少しており、2025 年（R7）には、65 歳以上の人口が生産年齢人口を逆転しています。



	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
人口 (人)	38,349	35,439	32,519	29,266	26,345	23,572	20,928	18,433	16,197
15歳未満 (人)	4,064	3,560	3,039	2,437	1,916	1,566	1,377	1,235	1,108
15歳～40歳未満 (人)	7,676	6,392	5,365	4,287	3,742	3,321	2,951	2,569	2,099
40歳～65歳未満 (人)	13,329	11,401	9,712	8,700	7,943	7,131	5,947	4,898	4,105
65歳～75歳未満 (人)	5,815	6,431	6,764	5,479	4,108	3,448	3,493	3,532	3,182
75歳以上 (人)	7,434	7,639	7,554	8,363	8,636	8,106	7,160	6,199	5,703
生産年齢人口 (人)	21,005	17,793	15,077	12,987	11,685	10,452	8,898	7,467	6,204
高齢者人口 (人)	13,249	14,070	14,318	13,842	12,744	11,554	10,653	9,731	8,885
生産年齢人口割合 (%)	54.8	50.2	46.4	44.4	44.4	44.3	42.5	40.5	38.3

（出典）2000 年～2020 年まで：総務省「国勢調査」

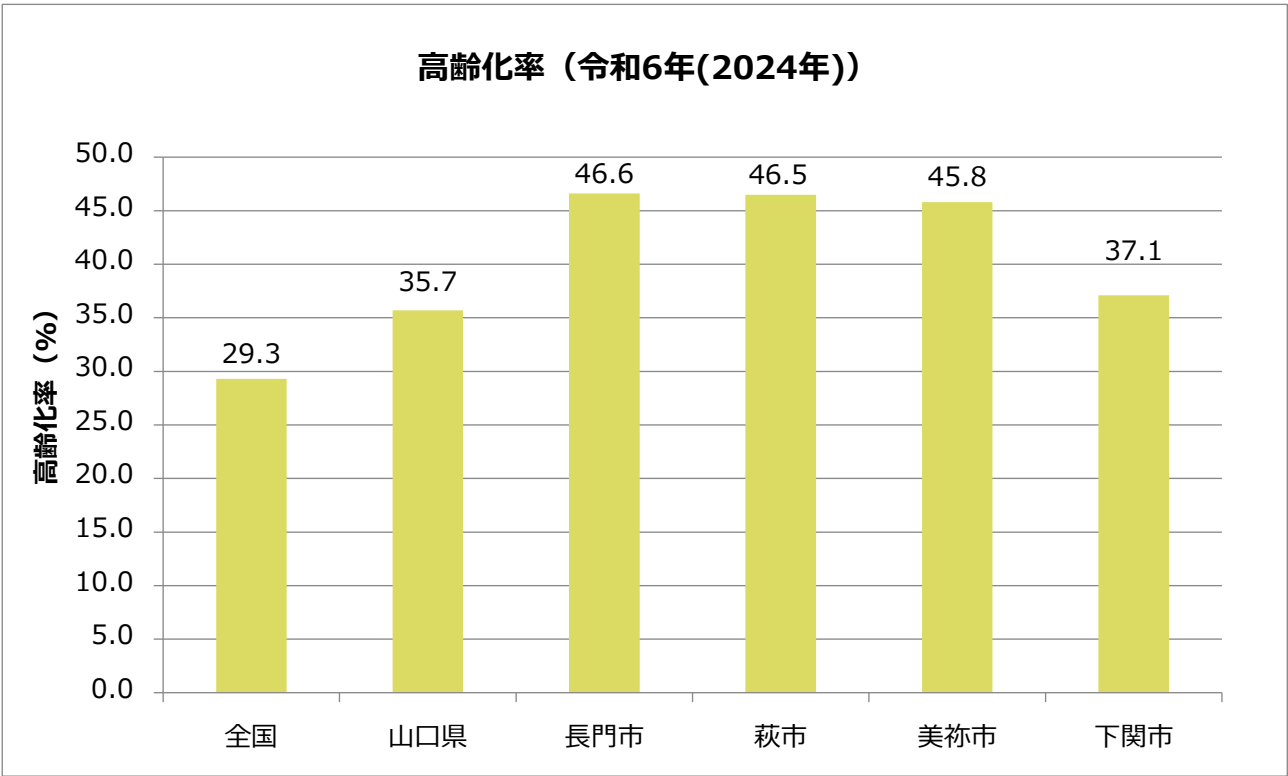
2025 年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」

◆高齢化率の状況

長門市の高齢化率は、全国や山口県、近隣市と比較して一番高くなっています。今後も高齢化率の上昇が予測され、2040 年（R22）には、50%を超えることが見込まれます。

※長門市の高齢化率の降順（令和 6 年（2024 年））

山口県内 19 保険者のうち 4 番目、全国 1,561 保険者のうち 164 番目



（時点） 令和 6 年（2024 年）

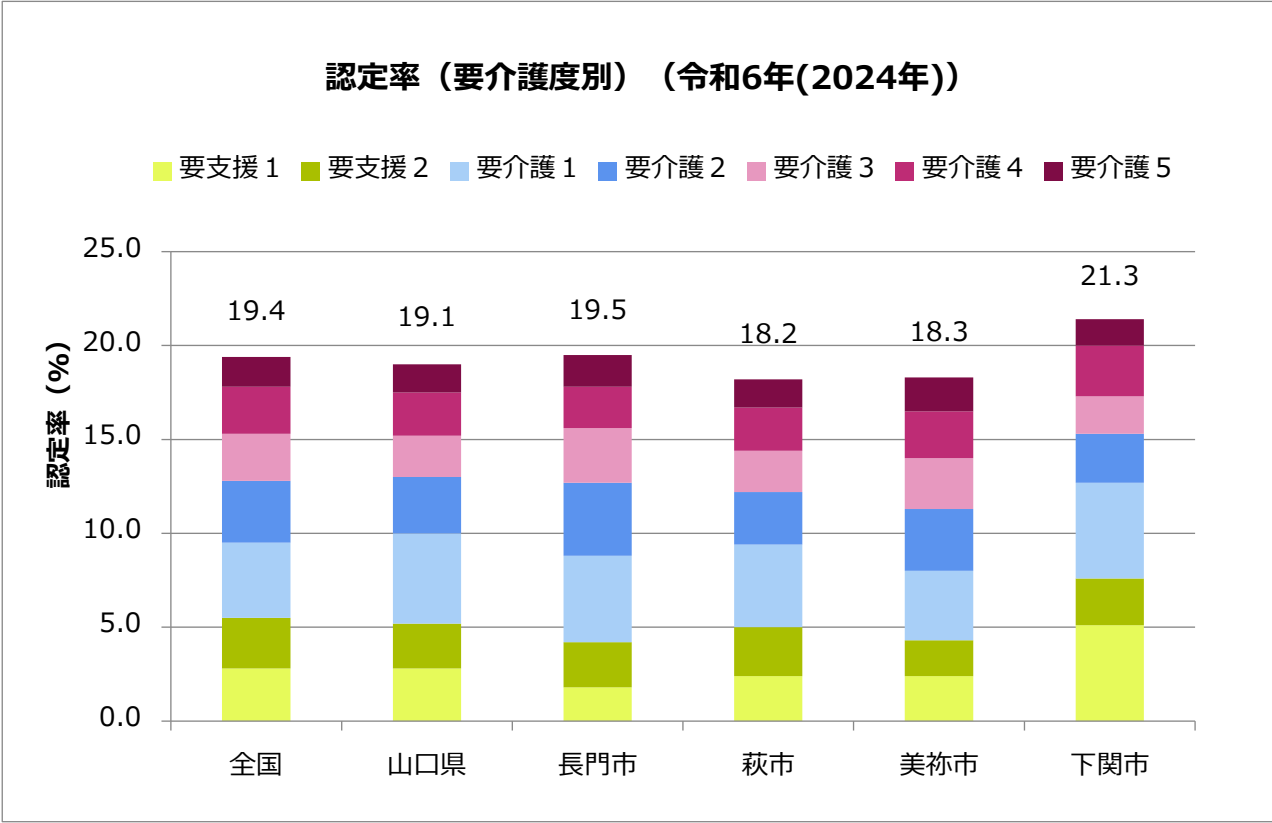
高齢化率 (%)	2021	2022	2023	2024	2025	2030	2035	2040	2045	2050
長門市	44.6	45.3	45.9	46.6	47.3	48.4	49.0	50.9	52.8	54.9
下関市	35.8	36.2	36.7	37.1	37.6	38.2	39.0	41.4	43.0	44.0
美祢市	43.3	44.1	45.0	45.8	46.8	48.6	50.2	52.9	55.0	56.5
萩市	44.5	45.1	45.8	46.5	47.2	48.6	49.9	52.8	55.5	57.5
山口県	34.6	35.0	35.3	35.7	36.0	36.6	37.6	40.0	41.5	42.3

（出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

◆認定率

認定率は、全国平均と比べて大きな差がありませんが、近隣市（萩市・美祢市）と比べると認定率が高くなっています。

要介護度別では、要支援１は他地域と比べ低くなっていますが、要介護２・３は高くなっています。
なお、比較対象としたどの地域も、要介護１の割合が最も高くなっています。



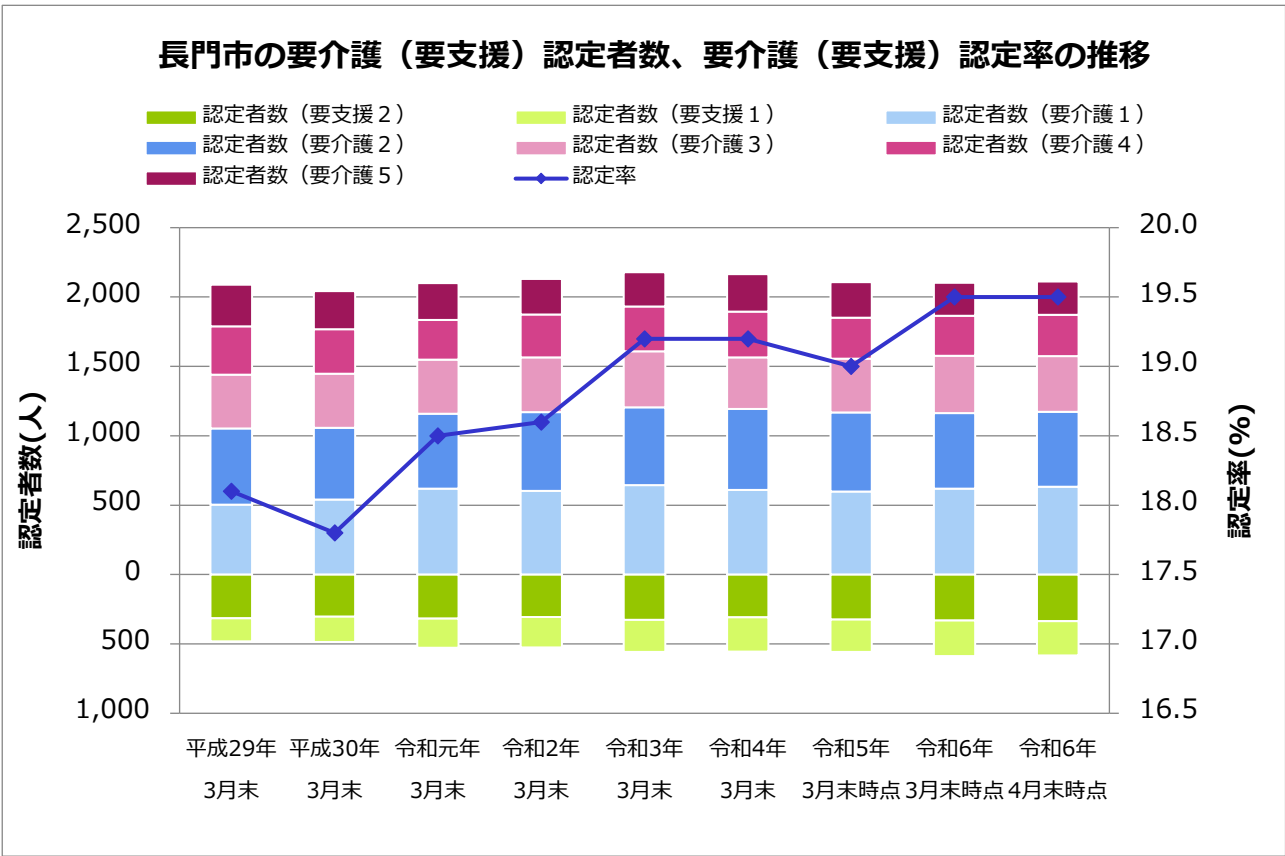
（時点）令和 6 年（2024 年）

認定率（％）	全国	山口県	長門市	萩市	美祢市	下関市
要支援 1	2.8	2.8	1.8	2.4	2.4	5.1
要支援 2	2.7	2.4	2.4	2.6	1.9	2.5
要介護 1	4.0	4.8	4.6	4.4	3.7	5.1
要介護 2	3.3	3.0	3.9	2.8	3.3	2.6
要介護 3	2.5	2.2	2.9	2.2	2.7	2.0
要介護 4	2.5	2.3	2.2	2.3	2.5	2.7
要介護 5	1.6	1.5	1.7	1.5	1.8	1.4
合計認定率	19.4	19.1	19.5	18.2	18.3	21.3

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

◆長門市の要介護（要支援）認定者数・認定率の推移

認定率は 2019 年（R1）から上昇しており、現在（R6）は 19.5%と、全国・山口県平均より高い状態となっています。



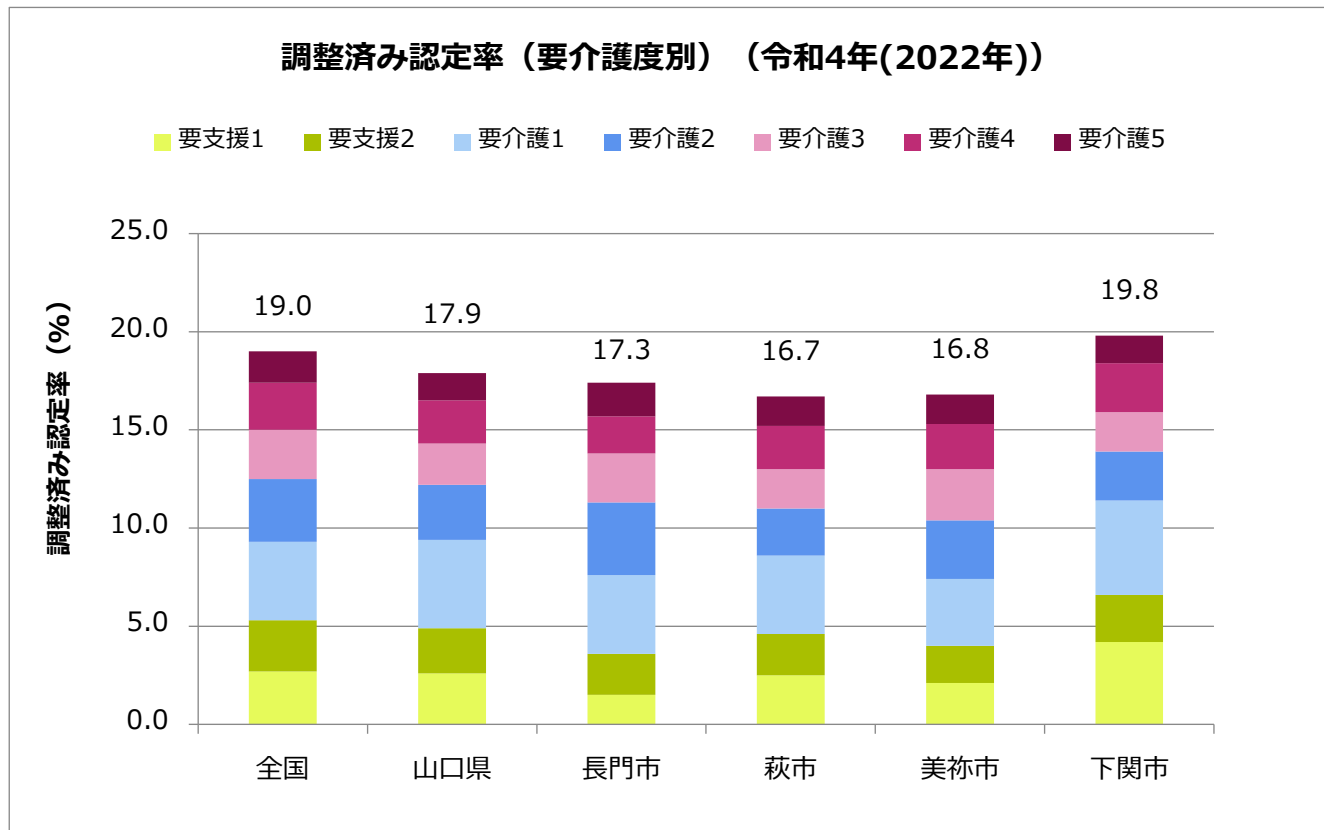
	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末	令和5年 3月末時点	令和6年 3月末時点	令和6年 4月末時点
認定者数 (人)	2,571	2,528	2,627	2,655	2,736	2,720	2,665	2,691	2,695
認定者数（要支援 1） (人)	166	182	209	219	231	246	233	257	248
認定者数（要支援 2） (人)	316	303	318	306	326	309	324	331	336
認定者数（要介護 1） (人)	503	541	620	602	645	609	599	620	634
認定者数（要介護 2） (人)	550	517	539	568	561	585	570	544	538
認定者数（要介護 3） (人)	388	389	389	394	403	370	387	413	403
認定者数（要介護 4） (人)	348	320	287	311	324	332	296	288	297
認定者数（要介護 5） (人)	300	276	265	255	246	269	256	238	239
認定率 (%)	18.1	17.8	18.5	18.6	19.2	19.2	19.0	19.5	19.5
認定率（山口県） (%)	19.1	18.9	19.0	19.0	19.2	19.0	19.0	19.1	19.1
認定率（全国） (%)	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0	19.4	19.4

（出典）平成 28 年度から令和 3 年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和 4 年度から令和 5 年度：「介護保険事業状況報告（3 月月報）」、令和 6 年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

◆調整済み認定率

調整済み認定率でみると、調整前と比べ全国平均との差が大きくなっています。第1号被保険者に占める後期高齢者の割合が全国平均よりも高いため、調整を行っていない認定率より調整済み認定率が低くなっているものと思われます。

※調整済み認定率とは、認定率の大小に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率を意味します。第1号被保険者の性・年齢別人口構成が、どの地域も、ある地域または全国平均の1時点と同じになるよう調整することで、地域間で比較がしやすくなります。

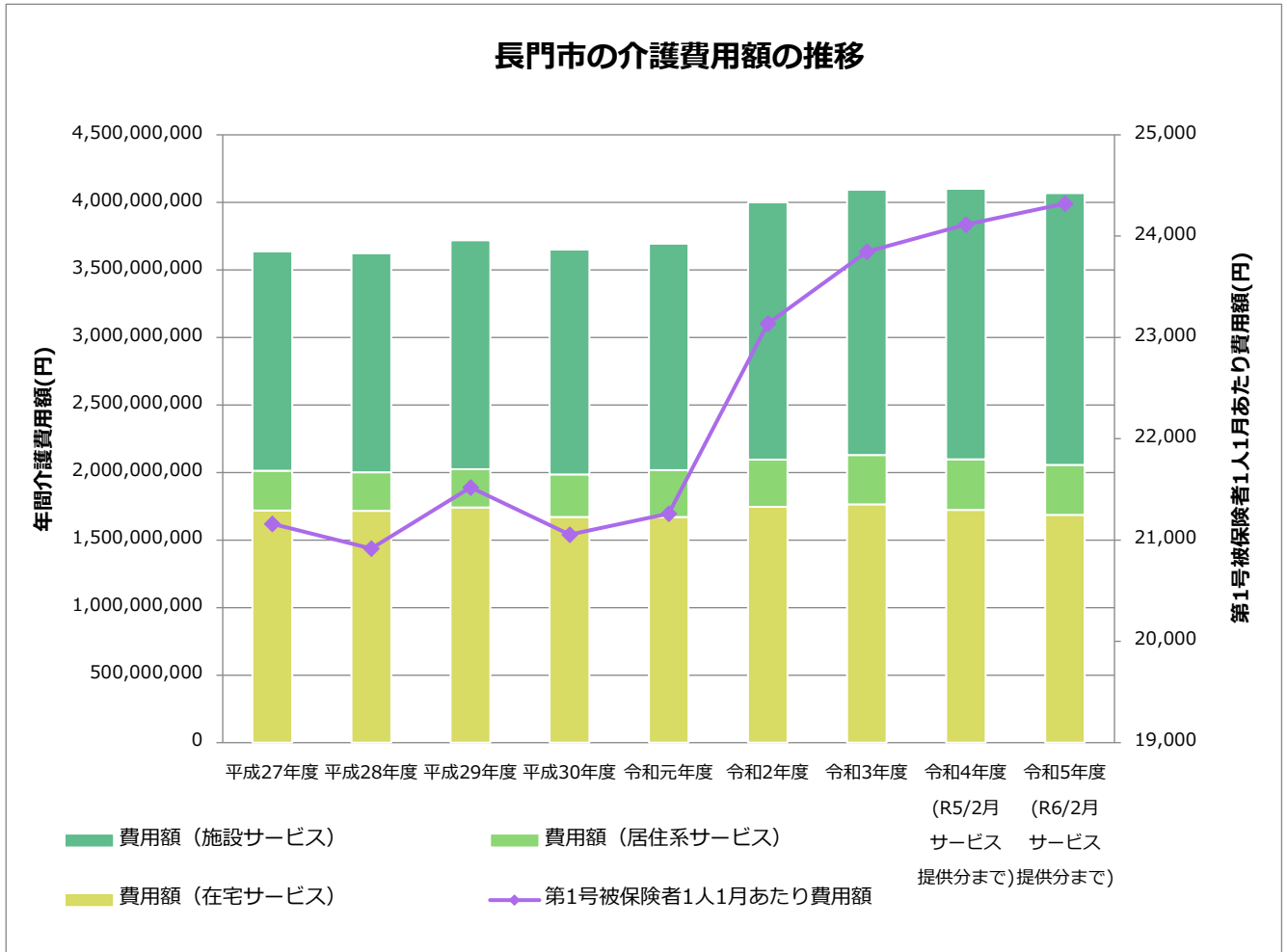


（時点）令和4年（2022年）

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

◆介護費用額の推移

1人1月あたりの費用額は、2020年（R2）から上昇しており、今後も上昇することが見込まれます。サービス別に見てみると、施設サービスの費用額が増加している一方、在宅サービスの費用額が減少しています。



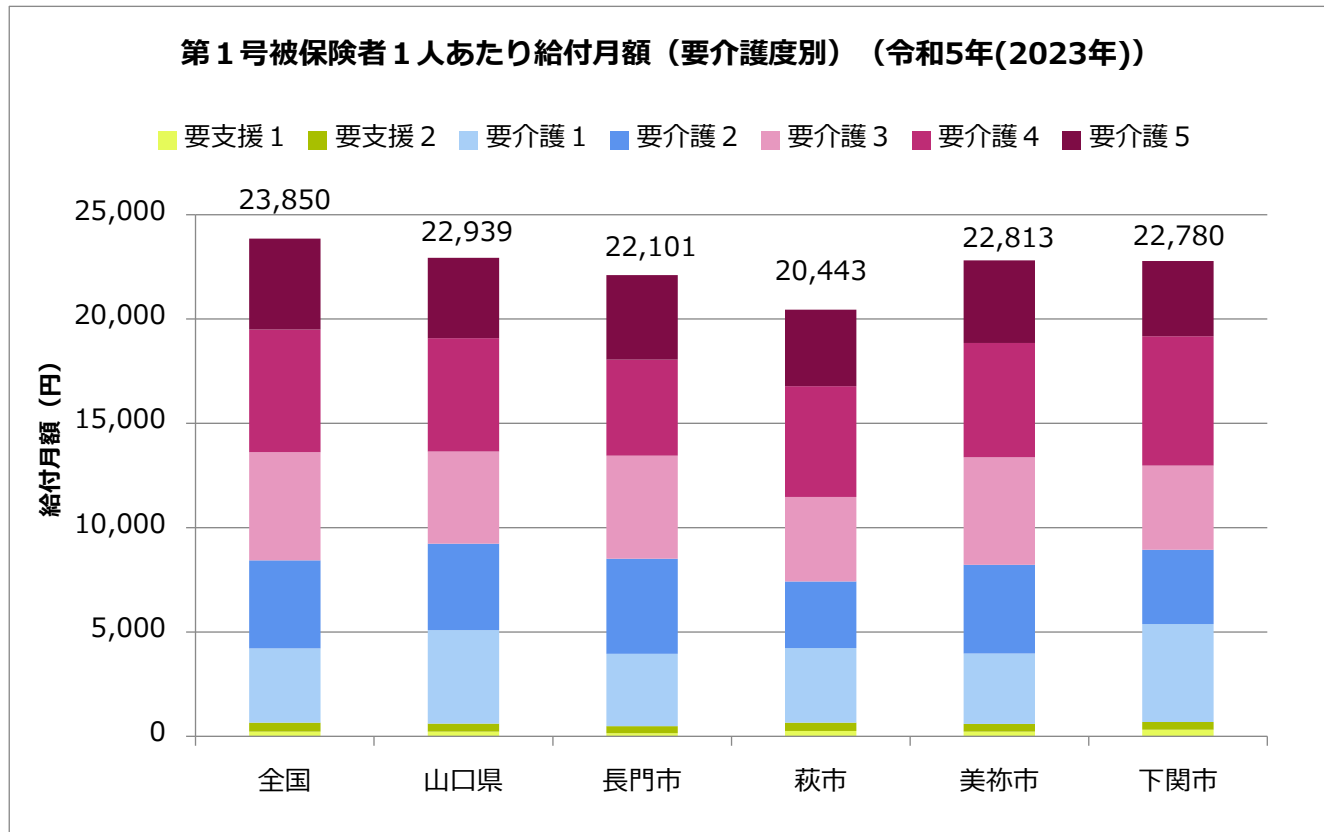
（出典）【費用額】平成27年度から令和3年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和4年度から令和5年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計（※補足給付は費用額に含まれていない）

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告月報」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

◆第1号被保険者1人あたりの給付月額

第1号被保険者1人あたりの給付月額は、全国・山口県平均より低くなっています。

介護度別では、要介護2の給付月額が全国・山口県平均及び近隣市より高くなっており、本市では要介護2の認定者の割合が高いことが考えられます。

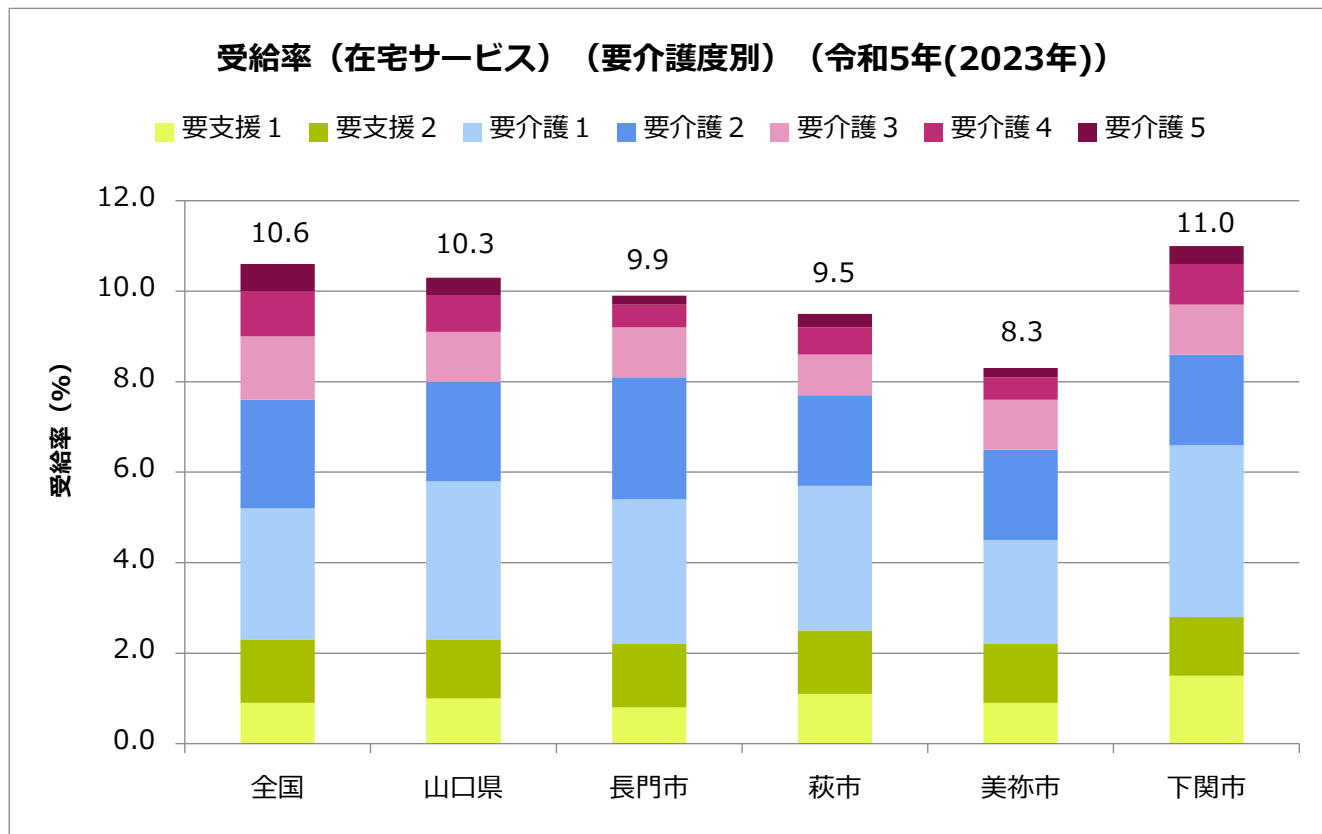


（時点）令和5年（2023年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

◆受給率（在宅サービス）（要介護度別）

在宅サービスの受給率は、全国・山口県平均より低くなっています。

介護度別では、第1号被保険者1人あたりの給付月額と同様、要介護2が全国・山口県平均及び近隣市より高くなっています。



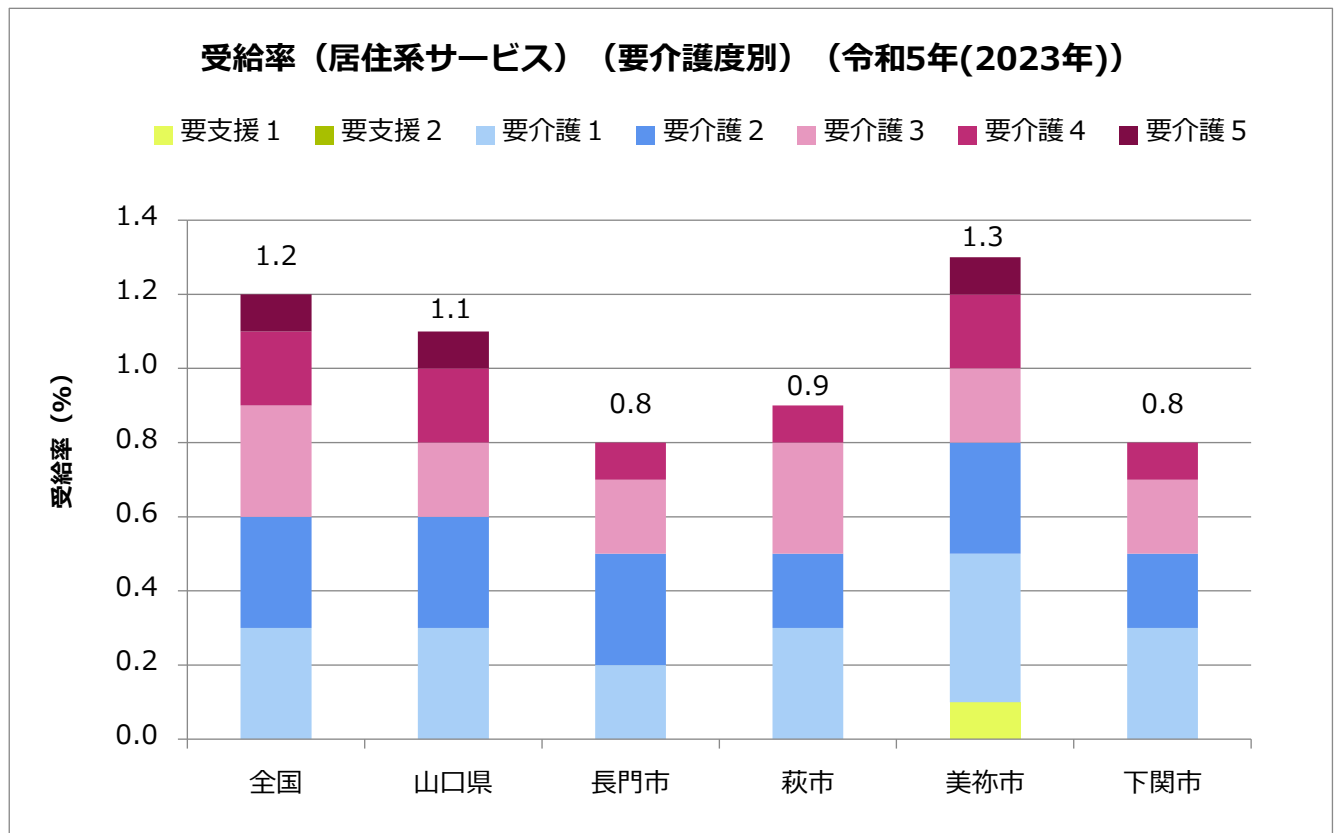
（時点）令和5年（2023年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

【在宅サービスの内訳】

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護（介護老人保健施設）、短期入所療養介護（介護療養型医療施設等）、短期入所療養介護（介護医療院）、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

◆受給率（居住系サービス）（要介護度別）

居住系サービスの受給率は、全国・山口県平均、近隣市（萩市・美祢市）より低くなっています。他市に比べて、居住系サービス事業所が少ないため、受給率が低いものと思われます。



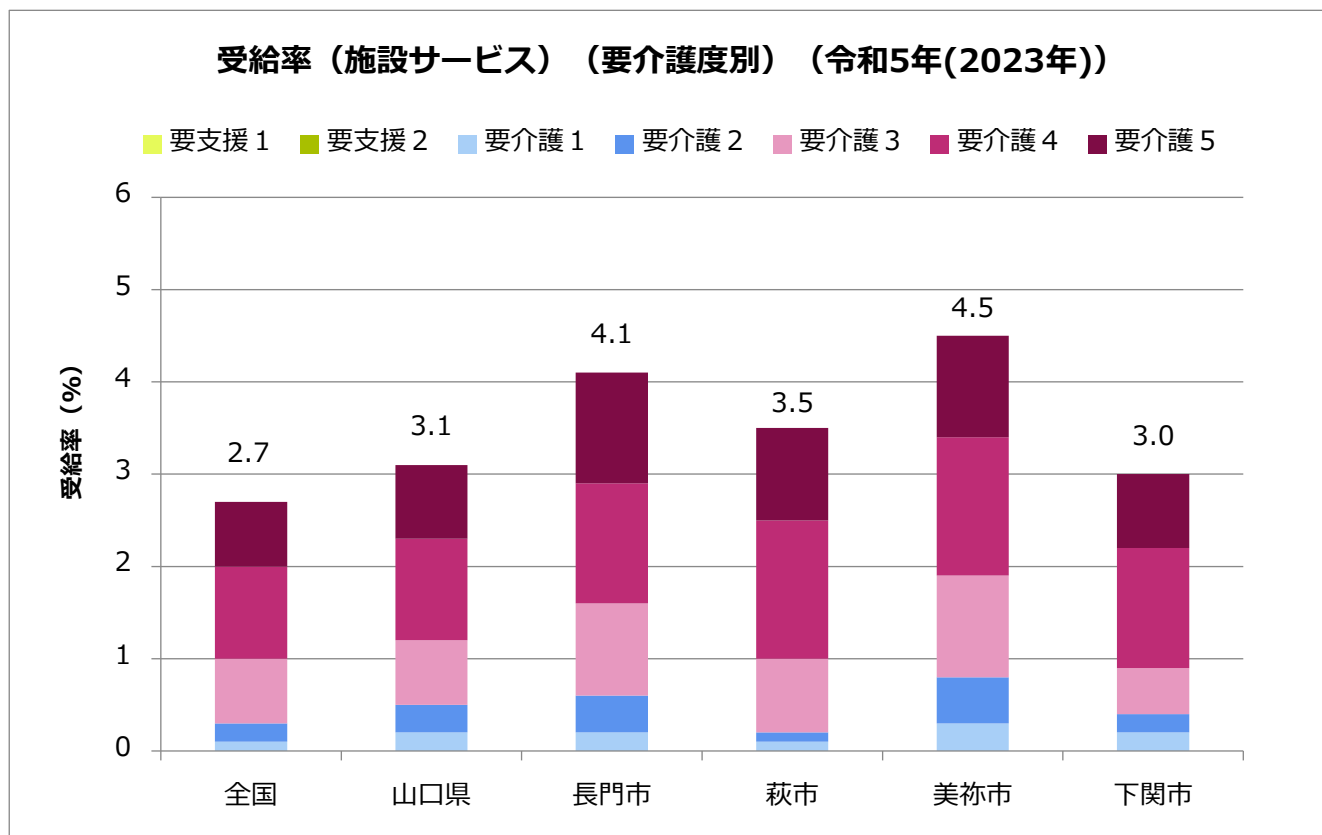
（時点）令和5年（2023年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

【居住系サービスの内訳】

特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

◆受給率（施設サービス）（要介護度別）

施設サービスの受給率は、全国・山口県平均、近隣市（萩市・下関市）より高くなっています。施設サービスへの依存が強く、施設入所希望者が多い傾向にあると思われます。



（時点）令和5年（2023年）、（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

【施設サービスの内訳】

介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院

【長門市の傾向】

- ① 高齢化率は全国・山口県平均と比較すると突出して高く、近隣市と比較しても高くなっています。高齢化率が高い要因として、65歳以上の人口は減少傾向にありますが、75歳以上の人口が増加傾向にある一方で、65歳未満の人口減少がより大きいためである。また、認定率は全国平均とほぼ同数ですが、第1号被保険者に占める75歳以上の割合が高くなるため、今後の高齢化率の上昇が見込まれるとともに、介護サービスを必要とする高齢者は増加するものと思われる。
- ② 受給率は在宅・居住系サービスが全国・山口県平均より低くなっているものの、施設サービスは高くなっています。高齢化率の上昇に加え、高齢者単身世帯や高齢者夫婦のみの世帯が多い地域であることから、施設サービスへの依存が高くなっていると考えられます。そうした中、今後の生産年齢人口の減少に伴い人材不足が見込まれるため、介護人材の確保が課題である。